

令和5年度

神奈川県公立中学校教育研究会  
技術・家庭科研究部会

## 第53回総会要項

期日：令和5年5月19日(金) 13:00 開場  
13:30 開始

会場：綾瀬市オーエンス文化会館 小ホール

## 第53回総会

司会：県央地区

- 1 開会のことば 飯島(副部会長)
- 2 部会長あいさつ 松山(部会長)
- 3 来賓あいさつ
- 4 来賓紹介 石井(副部会長)
- 5 議長団選出
- 6 議事
  - (1) 役員選考委員会から 役員選考委員長
  - (2) 令和4年度事業報告 事務局
  - (3) 令和4年度決算報告 会計
  - (4) 令和4年度会計監査報告 会計監査
  - (5) 令和5年度事業計画(案) 事務局
  - (6) 令和5年度予算(案) 会計
  - (7) その他 ①規約及び組織改訂について 事務局
- 7 報告事項 嘉山(事務局長)
  - (1) 第61回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会栃木大会の報告
  - (2) 第62回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会群馬大会概要について
  - (3) 第22回全国中学生創造ものづくり教育フェア関東甲信越地区大会(東京大会)  
・全国大会の報告
  - (4) 第23回全国中学生創造ものづくり教育フェアについて 矢坂(フェア事務局長)
- 8 議長団解任
- 9 令和5年度役員・事務局紹介 松山(部会長)  
委嘱状伝達(代表)
- 10 表彰者紹介 事務局  
感謝状贈呈 松山(部会長)  
感謝状受賞者代表挨拶
- 11 関プロ群馬大会分科会提案概要発表
  - (1) 技術分野 A 材料と加工の技術(湘南地区) 藤沢市立村岡中学校 猪熊 俊宏 教諭
  - (2) 家庭分野 B 衣食住の生活(住生活)(中地区) 平塚市立旭陵中学校 中野 恵理佳 教諭
- 12 研究会創立50周年記念講演  
演題「中学校の技術家庭科に工科系大学教員が求めること～家電を用いた工学教育の紹介～」  
講師：神奈川工科大学創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科 三栖 貴之 教授  
  
講師紹介 県央地区  
謝辞 村井(副部会長)
- 13 時期開催地あいさつ(中地区：伊勢原市) 柴崎(副部会長)
- 14 事務連絡 池田(書記)
- 15 閉会のことば 石井(副部会長)

地区		学校数	地区	学校数	
横浜		143	県央	厚木市	13
		義務 3		愛甲郡	5
川崎		52		大和市	9
				座間市	6
相模原		34		海老名市	6
		義務 2	綾瀬市	5	
横須賀 三浦	横須賀市	23	中	平塚市	15
	三浦市	3		中郡	4
	逗子市	3		伊勢原市	4
	葉山町	2		秦野市	9
湘南	鎌倉市	9	県西	小田原市	11
	藤沢市	19		足柄下郡	3
	茅ヶ崎市	13		南足柄市	3
	寒川町	3		足柄上郡	5

合計407校(中学校402校、義務教育学校5校)

1 開会のことば

飯島(副部会長)

2 部会長あいさつ

松山(部会長)

3 来賓あいさつ

4 来賓紹介

神奈川県立総合教育センター 企画調整部 広報情報課 主査(兼)指導主事  
 佐藤 竜也 様  
 神奈川県教育委員会支援部子ども教育支援課 指導主事 水沢 文芳子 様

5 議長団選出

6 議事

(1) 役員選考委員会から  
令和5年役員候補者

前年度役員選考委員長

役職	氏名(敬称略)	職名	学校名	地区
部会長	松山 雅彦	校長	横須賀市立北下浦中学校	横三
副部会長	飯島 敏明	校長	横浜市立西谷中学校	横浜
	石井 秀明	校長	川崎市立柿生中学校	川崎
	柴崎 厚子	校長	平塚市立旭陵中学校	中
	村井 直子	副校長	相模原市立相模丘中学校	相模原
	比留川義弘	教頭	大和市立大和中学校	県央
顧問	北井 淳一	校長	藤沢市立第一中学校	湘南

前年度第4回常任・合同委員会において部会長・副部会長4名はすでに承認を受けておりました。  
欠員となっていた県域からの副部会長を新たに選出しました。

(2) 令和4年度事業報告

事務局

NO	月	日	曜	時間	内容	会場・地区
1	4	9	土	15:00	全日中フェア委員会	オンライン
2	4	15	金	17:00	第1回事務局会	横須賀市立北下浦中学校
3	5	18	水	14:00	第2回事務局会	藤沢市立藤が岡中学校
4	5	20	金		県総会	藤沢市民会館小ホール
5	6	11	土	14:00	全日中 総会	オンライン
6	6	18	土	13:30	関プロ理事研修会	オンライン
7	6	16	木	15:00	第3回事務局会	かながわ労働プラザ 第11会議室
8	6	29	水	15:00	第1回常任合同委員会	神奈川県立近代文学館
9	8	6	土	13:00	全日中フェア委員会	オンライン開催
10	8	3	水	9:30	夏季研修会	かながわ労働プラザ
11	8	20	土	9:00	第4回事務局会	かながわ労働プラザ
12	9	14	水	15:00	第2回常任合同委員会	かながわ県民センター(ホール)
13	10	12	水	15:00	第5回事務局会	かながわ県民センター
14	10	19	水	15:00	第3回常任合同委員会 (フェア委員会併催)	湘南工科大学
15	11	4	金	16:00	全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ 前日準備	湘南工科大学
16	11	5	土	終日	全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ	湘南工科大学(オンライン開催)
17	11	17 18	木 金		全日本中学校技術・家庭科研究大会(兼)関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 栃木大会	17日:理事会・全体会(オンライン) 18日:分科会(ライブ配信)
18	12	3 4	土 日	終日	全国中学生創造ものづくり教育フェア関東甲信越地区大会	中央区立銀座中学校(オンライン)
19	12	10	土	13:00	全日中フェア委員会	
20	12	27	火		顧問会	横浜
21	1	27 28 29	金 土 日		第22回全国中学生創造ものづくり教育フェア	オンライン開催 本部:中央区立銀座中 中央区立総合スポーツセンター
22	2	8	水	15:00	第6回事務局会	かながわ県民センター
23	2	10	金	13:30	関プロ理事研修会	オンライン
24	2	11	土	13:30	全日中フェア委員会	オンライン
25	2	16	木	15:00	第4回常任合同委員会	神奈川県立近代文学館
26	3	30	木	14:30	臨時役員会	横須賀市立北下浦中学校

【年間事業報告】

《研究委員会 技術分野》

(敬称略)

委員長名	宇條 健	副委員長名	萬澤 光昭
所 属	茅ヶ崎市立鶴嶺中学校	所 属	海老名市立大谷中学校
おもな活動	<input type="checkbox"/> 委員長・副委員長の選出 <input type="checkbox"/> 研究収録 とじ込み <input type="checkbox"/> 年間活動計画の作成		

《研究委員会 家庭分野》

委員長名	眞島 亜紀子	副委員長名	竹本 早苗
所 属	鎌倉市立第二中学校	所 属	厚木市立藤塚中学校
おもな活動	<input type="checkbox"/> 委員長・副委員長の選出 <input type="checkbox"/> 研究収録 とじ込み <input type="checkbox"/> 年間活動計画の作成		

《フェア委員会》

委員長名	小倉 修	副委員長名	雲宮 有一朗
所 属	逗子市立久木中学校	所 属	藤沢市立長後中学校
おもな活動	<input type="checkbox"/> 委員長・副委員長の選出 <input type="checkbox"/> 県フェア・関東フェア運営 <input type="checkbox"/> 年間活動計画の作成		

《調査 Web 委員会》

委員長名	上條 宏之	副委員長名	宇都宮 恵
所 属	相模原市立大野北中学校	所 属	横須賀市立野比中学校
おもな活動	<input type="checkbox"/> 委員長・副委員長の選出 <input type="checkbox"/> アンケート項目検討 <input type="checkbox"/> 年間活動計画の作成		

《会報委員会》

委員長名	横手 奈津美	副委員長名	安田 ひとみ
所 属	伊勢原市立山王中学校	所 属	小田原市立酒匂中学校
おもな活動	<input type="checkbox"/> 委員長・副委員長の選出 <input type="checkbox"/> 会報内容検討 <input type="checkbox"/> 年間活動計画の作成		

昨年度1年間、各地区から選任された委員の方々のご尽力により、全国中学生創造ものづくり教育フェアを実施することができました。また、会報第98号・99号を刊行し、県内全校へ配布することができました。

本日資料として同封されております研究集録、調査結果分析資料については、今後の各校における実践にお役立ていただきたいと思います。

ご協力をいただき、ありがとうございました。

神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会

令和4年度 決算報告書

単位：円

収入額	705,500	支出額	705,500	差引残高	0
-----	---------	-----	---------	------	---

【収入の部】

項目	予算額	決算額	増減	付記
研究助成金	95,000	95,000	0	公立中学校教育研究会より
分担金	162,800	162,800	0	分担金 400×407校
全日中分担金	447,700	447,700	0	分担金 1,100×407校
前年度繰越金	0	0	0	
合計	705,500	705,500	0	

【支出の部】

項目	予算額	決算額	増減(▲減)	付記
研究費	57,800	39,186	▲18,614	研究費補助、紙代等
部活動費	30,000	15,720	▲14,280	研究収録、通信費等
関プロ分担金	80,000	80,000	0	関プロ分担金 5万、関東フェア分担金 3万
總會運営費	30,000	42,960	12,960	總會運営費
事務費	20,000	35,436	15,436	封筒代、紙代、文具代等
会議費	30,000	44,498	14,498	会議費補助
全日中分担金	447,700	447,700	0	分担金 1,100×407校
関プロ準備金	10,000	0	▲10,000	
予備費	0	0	0	
合計	705,500	705,500	0	

上記の通りご報告いたします。

令和5年3月23日

部会長

松山 雅彦



事務局会計

中瀬 有喜



監査の結果、上記の通り相違ありません。

令和5年3月27日

会計監査

川崎市立南菅中学校

野田 まなみ



会計監査

平塚市立江陽中学校

山崎 幸子



※なお、全日本中学校技術・家庭科研究会に納入した会費の会計報告は、6月3日に予定されている全日中総会において報告されますので、第1回常任・合同委員会にてご報告いたします。

## (5) 令和5年度事業計画(案)

事務局長

月	日	曜	内容	会場等	開催地
4	8	土	全日中フェア運営委員会	オンライン	東京
4	20	木	① 事務局会	横浜市立西谷中学校	横浜
5	11	木	② 事務局会	県央地区+新旧事務局 綾瀬市立城山中学校	県央
5	19	金	神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 総会	関プロ群馬大会 提案発表 技術分野:湘南地区 A 材料加工 家庭分野: 中地区 B 衣食住(衣)	県央
6	3	土	全日中 総会	14:00 大田区産業プラザ PIO	東京
6		土	関プロ理事研修会	13:30~16:30 会場未定	群馬
6	16	金	③ 事務局会	藤沢市立第一中学校	湘南
6	22	木	① 常任合同委員会	15:00~かながわ県民センター	横浜
6	28	水	④ 事務局会	横浜市立西谷中学校	横浜
7	7	金	② 常任合同委員会	15:00~かながわ労働プラザ	横浜
8			県技・家研夏季研修会	検討中	
8	5	土	全日中フェア運営委員会	未定	東京
8	17	木	⑤事務局会	未定	
9	8	金	③ 常任合同委員会 研究会創立50周年記念式典	15:00~湘南工科大学	湘南
10			⑥ 事務局会	未定	
10	19	木	④ 常任合同委員会 (フェア委員会併催)	常任合同:湘南工科大学 14:45~ フェア : 16:10~	湘南
11	1 2	水 木	関東甲信越地区中学校 技術・家庭科研究大会 群馬大会	1日:理事会 (オンライン) 2日:全大会・分科会(県内6会場) 第2・7分科会については、オンデマンドによる授業公開	群馬
11	3	祝・金	第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ 前日準備	湘南工科大学	県央
11	4	土	第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ	湘南工科大学	県央
11	9 10	木 金	全日本中学校技術・家庭科研究大会静岡大会	9日:全国理事会 全体会 10日:公開授業 分科会	静岡
12	2 3	土 日	第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア 関東甲信越地区大会	未定	栃木
12	9	土	全日中フェア運営委員会	未定	東京
12			⑦ 事務局会	未定	未定
1	19 20 21	金 土 日	第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア	本部:中央区立銀座中 中央区立総合スポーツセンター おべんとうコンクール:女子栄養大学	東京

				プログラミングコンテスト:湘南工科大学(神奈川県運営)	
2			⑧ 事務局会	未定	未定
2			関プロ理事研修会	2月第2週	東京
2	10	土	全日中フェア運営委員会	未定	東京
2	未定		⑤ 常任合同委員会	未定	未定
3			臨時役員会	3月下旬	部会長校

※会議日程・会場等は感染状況に応じて変更・中止・延期となる場合があります。  
その場合には県技家研ホームページにおいて連絡いたしますので、ご留意ください。

### 【研究大会・フェア運営地区 輪番】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
全国大会 開催地(回)	静岡(62)	山形(63)	北海道(64)	鹿児島(65)	奈良(66)
関東大会 開催地(回)	群馬(62)	千葉(63)	山梨(64)	埼玉(65)	新潟(66)
技術分野 提案地区 分科会 提案内容	湘南 第1分科会 材料加工	県央 第3分科会 エネルギー	中 第4分科会 情報	県西 第2分科会 生物育成	横浜 第1分科会 材料加工
家庭分野 提案地区 分科会 提案内容	中 第6分科会(2) 衣食住の 生活(衣)	県西 第5分科会 家族と家庭	横浜 第7分科会 消費生活と 環境	川崎 第6分科会(1) 衣食住の 生活(食)	相模原 第6分科会(2) 衣食住の 生活(住)
県総会	県央	中	県西	横浜	川崎
関東フェア	栃木	群馬	千葉	山梨	埼玉
県フェア運営	湘南	県央	中	県西	横浜

※令和9年度関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会新潟大会については、新潟県技術・家庭科研究会の解散のため、方向性について現在検討中となっております。

### 【委員会 輪番】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
研究(技術)(長)	県央	中	県西	横浜	川崎
	中	県西	横浜	川崎	相模原
研究(家庭)(長)	県央	中	県西	横浜	川崎
	中	県西	横浜	川崎	相模原
フェア(長)	湘南	県央	中	県西	横浜
	県央	中	県西	横浜	川崎
調査 Web(長)	横三	湘南	県央	中	県西
	湘南	県央	中	県西	横浜
会報(長)	県西	本日の規約改正が可決された場合、令和6年度より、「調査web」と「会報」を合併します。			
	横浜				

《輪番》 横浜－川崎－相模原－横須賀三浦－湘南－県央－中－県西



## 神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会

## 令和5年度 予算 (案)

単位：円

収入額	705,500	昨年度予算額	705,500	比較	0
-----	---------	--------	---------	----	---

## 【収入の部】

項目	予算額	昨年度予算額	増減	付 記
研究助成金	95,000	95,000	0	公立中学校教育研究会より
分担金	162,800	162,800	0	分担金 400×407校
全日中分担金	447,700	447,700	0	分担金 1,100×407校
前年度繰越金	0	0	0	
合計	705,500	705,500	0	

## 【支出の部】

項目	予算額	昨年度予算額	増減 (▲減)	付 記
研究費	37,800	57,800	▲20,000	研究費補助、郵送代等
部活動費	20,000	30,000	▲10,000	研究集録、通信費等
関プロ分担金	80,000	80,000	0	関プロ分担金5万、関東フェア分担金3万
総会運営費	30,000	30,000	0	総会運営費
会報印刷費	5,000	0	5,000	会報印刷費
事務費	40,000	20,000	20,000	封筒代、紙代、文具代等
会議費	40,000	30,000	10,000	会議費補助
全日中分担金	447,700	447,700	0	
関プロ準備金	5,000	10,000	▲5,000	
予備費	0	0	0	
合計	705,500	705,500	0	

上記の通り提案いたします。

令和5年 5月 19日

部会長 松山 雅彦

事務局会計 中瀬 有喜

(別紙 規約を参照)

## ※用語の確認

「地区」…横浜、川崎、相模原、横須賀三浦、湘南、県央、中、県西 のブロック割を示す。

「県域」…上記から3政令市を除いた5地区全体のことを指す。

「郡市町村」…県域の地区内に属する郡部、市、町、村の単位のことを示す。

※本要項の2ページに、上記「地区」「郡市町村」の対応が掲載されているので参考にしてください。

## 提案

- ① 令和6年度の各地区委員選出にあたり、次の点を変更する。
- ア 役員の承認は、年度最終の常任・合同委員会ではなく、新年度の総会にて承認を行う。
- イ 「各地区から副部会長または常任幹事を選出する」を削除。  
8地区から若干名の副部会長を選考する。  
部会長及び副部会長の選考にあたっては、横浜1、川崎1、相模原1、県域3を基本とするが、役員の職務の円滑な引継ぎのため、定数は定めず若干名とする。
- ウ 8地区を構成する郡市町村から担当管理職を年度初めに報告する。  
担当管理職は郡市町村の校長または副校長、教頭をもって充てる(専門教科は問わない)  
担当管理職は、本研究会の常任・合同委員会には出席しない。  
担当管理職は、地区から選出する委員の選出を地区内で調整する。
- エ 担当管理職の中から、別に定めるローテーション表により、役員選考委員を選出する。  
ローテーションにおいては、地区の学校規模を勘案し、横浜1、川崎1、相模原1、県域3の計6名で構成するものとする。  
役員選考委員は、翌年度の役員(部会長・副部会長)の候補者選出をつかさどる。  
役員選考委員は、当該年度の3月に役員選出のための調整を行う。(役員選考委員会)
- オ 各地区から選出する委員は次のとおりとする。  
○研究委員(技術分野) 1名  
○研究委員(家庭分野) 1名  
○フェア委員(技術分野) 1名  
○フェア委員(家庭分野) 1名  
○広報委員(分野を問わない) 1名~2名  
※経過措置として、各地区のローテーションが整うまでは現状同様の2名体制としても差し支えない。
- ② 各地区から選出される上記委員は、郡市町村の代表幹事を兼ねる場合がある。  
代表幹事は、各郡市町村の担当管理職との連絡の窓口となる。

## 提案の理由

- ・学校規模の縮小が進み、技術・家庭科担当者が不在の学校(非常勤講師対応、臨時免許対応等)が多くなってきており、委員の選出が困難となってきている。このため、研究会事業そのものを整理し、各地区からの選出数を1名減じて5名とすることを基本としたい。
- ・同様に、各郡市町村の規模によっては、技術・家庭科を専門教科とする管理職が配置されていない現状もあり、郡市町村からの幹事の選出が困難であるため、地区から選ばれた委員の中から、郡市町村代表幹事を1名選出し、担当管理職との連絡窓口とすることが妥当であると考えた。

## 今後各地区で整備が必要な内容

- ・毎年地区(郡市町村)から1名の担当管理職を選考することをご確認いただきたい。  
担当管理職は定例の会議への出席義務はなく、年度最終常任・合同委員会において代表幹事が伝達される「地区選出委員名簿」「表彰候補者推薦報告書」をもとに、各地区の担当管理職でご相談いただき、地区内のローテーション等をご相談いただきたい。

## 7 報告事項

嘉山（事務局長） 矢坂（フェア事務局長）

### (1) 第 61 回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会栃木大会の報告

- 技術分野 B 生物育成の技術 三浦市立初声中学校 山本 優 教諭  
横須賀市立公郷中学校 林 敬徳 教諭
  - 家庭分野 B 衣食住の生活(食生活) 座間市立座間中学校 北田麻美 教諭
- 紙面による発表をしていただきました。ありがとうございました。
- ご参会ありがとうございました。今年度は1日開催の日程となりますので、参加のご検討をよろしく願いいたします。

### (2) 第 62 回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会群馬大会について

- 申込等詳細は、別途案内します。
- 提案発表  
技術分野:湘南地区 A 材料と加工の技術 藤沢市立村岡中学校 猪熊 俊宏 教諭  
家庭分野:中地区 B 衣食住の生活(住生活) 平塚市立旭陵中学校 中野 恵理佳 教諭

※関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会の分科会においては、開催県提案のみ分科会で行われるため、上記提案発表は、9月8日(金)に開催される第3回常任合同委員会の中で研究発表の機会を設けます。

### (3) 第 22 回全国中学生創造ものづくり教育フェア・関東甲信越地区創造ものづくり教育フェア報告

〈関東甲信越地区大会〉12月5日(日) オンライン開催  
計測・制御部門 最優秀賞・アイデア賞(全国大会出場権獲得) 平塚市立金旭中学校  
基礎部門 審査員特別賞 横須賀市立長井中学校  
応用・発展部門 審査員特別賞 横須賀市立長井中学校

〈全国大会〉令和5年1月28日(土) オンライン開催

【生徒作品展】公益社団法人 全国中学校産業教育教材振興協会会長賞 横浜市立菅田中学校  
【木エッセイコンテスト】公益財団法人 つくば科学万博記念財団 理事長賞 川崎市立大師中学校  
【あなたのためのお弁当】コンクール 東京都公立中学校 PTA 協議会会長賞 川崎市立東橋中学校  
【ロボットコンテスト】公益財団法人 つくば科学万博記念財団 理事長賞 計測・制御部門 平塚市立金旭中学校

### (4) 第 23 回全国中学生創造ものづくり教育フェアについて

- in かながわ 11月4日(土) 湘南工科大学(現在のところ参集型を予定しています)  
参加申し込み(応諾書提出)〆切 9月8日(金)
- 関東甲信越地区大会(栃木) 別途案内 12月上旬の土・日となる予定。
- 全国大会 令和5年1月20日(土)21日(日)

## 8 議長団解任

9 令和5年度役員及び事務局の委嘱  
【役員】

松山(部会長)

役職	氏名(敬称略)	職名	学校名	地区
部会長	松山 雅彦	校長	横須賀市立北下浦中学校	横三
副部会長	飯島 敏明	校長	横浜市立西谷中学校	横浜
	石井 秀明	校長	川崎市立柿生中学校	川崎
	柴崎 厚子	教頭	平塚市立旭陵中学校	中
	村井 直子	副校長	相模原市立相模丘中学校	相模原
	比留川義弘	教頭	大和市立大和中学校	県央
顧問	北井 淳一	校長	藤沢市立第一中学校	湘南

【事務局】

役職	氏名(敬称略)	職名	学校名	地区
事務局長	嘉山 英明	教諭	逗子市立沼間中学校	横三
フェア事務局長	矢坂 健太郎	教諭	川崎市立南大師中学校	川崎
技術部長	佐久川 仁	教諭	茅ヶ崎市立西浜中学校	湘南
家庭部長	中瀬 有喜	教諭	相模原市立弥栄中学校	相模原
書記	向井 大貴	教諭	横浜市立舞岡中学校	横浜
	笠井 健太	教諭	横浜市立上菅田中学校	横浜
	池田 悠士	教諭	相模原市立上溝南中学校	相模原
	石井 美咲	教諭	藤沢市立片瀬中学校	湘南
会計	玉城 愛理	教諭	川崎市立西中原中学校	川崎

【事務局外委嘱】

役職	氏名(敬称略)	職名	学校名	地区
創造アイデア ロボットコンテ スト全国中学生大 会ルール検討会 議 検討委員	沼田 尚之	教諭	横須賀市立常葉中学校	横三

※令和6年度から創造アイデアロボットコンテストの部門競技ルールをフルモデルチェンジするために、全国のブロック(神奈川県は関東甲信越ブロックに属しております)から3名の検討委員を選出します。今回、関東甲信越ブロックの中で神奈川県からの委員を選出することとなり、ご自身の経験として中学生の時期にロボットコンテスト全国大会に出場経験のある沼田教諭を部会長が委嘱しました。この場を借りてご紹介いたします。

10 表彰者紹介  
感謝状贈呈

事務局  
松山(部会長)

【被表彰者 一覧】

氏名	地区	表彰事由	備考
北井 淳一 様	湘南	あなたは、前神奈川県公立中学校技術・家庭科研究部会副部長として、多年にわたり技術・家庭科の振興に尽力され、多大な功績を残されました。よってここに記念品を贈り表彰いたします。	顧問として事務局継続在籍のため、顧問退任時に表彰予定。
松山 弘子 様	横浜	あなたは、前神奈川県公立中学校技術・家庭科研究部会事務局長として、多年にわたり技術・家庭科の振興に尽力され、多大な功績を残されました。よってここに記念品を贈り表彰いたします。	
荒木 聡子 様	川崎	あなたは、前神奈川県公立中学校技術・家庭科研究部会家庭部長として、多年にわたり技術・家庭科の振興に尽力され、多大な功績を残されました。よってここに記念品を贈り表彰いたします。	
市丸 祐介 様	湘南	あなたは、前神奈川県公立中学校技術・家庭科研究部会技術部長として、多年にわたり技術・家庭科の振興に尽力され、多大な功績を残されました。よってここに記念品を贈り表彰いたします。	
高橋 絵美 様	中	あなたは、前神奈川県公立中学校技術・家庭科研究部会書記として、多年にわたり技術・家庭科の振興に尽力され、多大な功績を残されました。よってここに記念品を贈り表彰いたします。	

※本日ご欠席の方はお名前の紹介のみとさせていただきます、後日事務局から感謝状をお送りいたします。地区で推薦された方につきましては、常任幹事または幹事の方へお送りいたしますので、ご本人への受け渡しの連絡調整にご協力ください。

11 関プロ群馬大会分科会提案概要

(1) 技術分野 A 材料と加工の技術 藤沢市立村岡中学校 猪熊 俊宏 教諭

(2) 家庭分野 B 衣食住の生活(住生活) 平塚市立旭陵中学校 中野 恵理佳 教諭

12 研究会創立50周年記念講演

県央地区

(1)講師紹介

(2)講演

演題「中学校の技術家庭科に工科系大学教員が求めること～家電を用いた工学教育の紹介～」

講師：神奈川工科大学創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科 三栖 貴之 教授

◆講演メモ◆

○謝辞：村井(副部会長)

14 事務連絡

池田(書記)

(1)次期開催地について

担当地区:中地区 担当市町村:伊勢原市

日程・会場については決定次第、常任・合同委員会を通じてお知らせします。  
中地区(伊勢原・平塚・秦野・大磯・二宮)全体での協力をお願いいたします。

(2)第1回常任・合同委員会について

本日の封筒に第1回招請状が添付されていますので、各地区で連絡していただき、委員の方にご参加いただけるようお口添えをお願いいたします。

第1回常任・合同委員会 令和5年6月

(3)令和6年度関ブロ千葉大会について (現状報告)

研究主題(案)

「生活や技術を工夫し創造する実践的な態度の育成」～主体的・対話的で深い学びを通して～

令和6年10月24日(水):理事会・全体会(オンライン)

令和6年10月25日(木):分科会(参集型による開催)

○第3分科会 エネルギー変換の技術(安房地区 参集型を予定)

○第5分科会 家庭と家族1(野田市立川間中学校 参集型を予定)

(4)その他

○全国小学校家庭科研究大会 神奈川県大会について

13 閉会のことば

石井(副部会長)

この資料についてのお問い合わせは、下記の県技・家研(略)事務局までお願いします。

嘉山 英明 (逗子市立沼間中学校 教諭)  
所在地 〒249-0004 逗子市沼間 3-21-2  
TEL 046-871-5200  
FAX 046-872-9657  
E-mail hideaki.kayama@edu.city-zushi.ed.jp  
県技・家研ホームページ <https://www.gikaken.com/>

発行日 令和5年 5月19日(金)

発行者 神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 事務局